

平成 28 年 3 月 18 日

## 家庭用品品質表示法施行令及び家庭用品品質表示法施行規則の改正について

本日、家庭用品品質表示法施行令及び家庭用品品質表示法施行規則を改正しました。

### 1 改正の概要

家庭用品品質表示法（昭和 37 年法律第 104 号。以下「法」という。）第 2 条第 1 項では、一般消費者が通常生活の用に供する商品（繊維製品、合成樹脂加工品、電気機械器具及び雑貨工業品）のうち、購入する際にその商品の品質を識別することが著しく困難であり、かつ、その品質を識別することが特に必要なものを家庭用品として政令で指定することとされています。

本改正では、家庭用品について政令である家庭用品品質表示法施行令（昭和 37 年政令第 390 号）で全品目を指定することを改め、指定品目の一部を内閣府令である家庭用品品質表示法施行規則（昭和 37 年通商産業省令第 106 号）で定めることとします。

なお、本改正前後で、法の規制の対象となる家庭用品自体に変更は生じません。

### 2 改正の経緯

規制改革実施計画（平成 26 年 6 月 24 日閣議決定）において「政令で指定する品質表示義務のある品目について、社会の変化に柔軟かつ迅速に対応する観点から、品目の指定の在り方を検討し、結論を得る。」とされたことを踏まえ、品目の指定の在り方について見直しを行ったものです。

### 3 施行日

平成 28 年 4 月 1 日

【本件に対する問合せ先】

消費者庁表示対策課 担当者：北原、和田

電話：03-3507-9205（直通）

家庭用品品質表示法施行令の一部を改正する政令新旧対照条文

○家庭用品品質表示法施行令（昭和三十七年政令第三百九十号）

（傍線部分は改正部分）

改正後	改正前
<p>（家庭用品）</p> <p>第一条 家庭用品品質表示法（以下「法」という。）第二条第一項の家庭用品は、別表のとおりとする。</p> <p>別表（第一条関係）</p> <p>一 繊維製品</p> <p>（一） 糸（その全部又は一部が綿、麻（亜麻及び苧麻に限る。）、毛、絹、ビスコース繊維、銅アンモニア繊維、アセテート繊維、ナイロン繊維、ポリエステル系合成繊維、ポリウレタン系合成繊維、ガラス繊維その他これらに類する繊維であつて内閣府令で定めるものに限る。）</p> <p>（二） （一）に掲げる糸を製品の全部又は一部に使用して製造した織物、ニット生地及びレース生地</p> <p>（三） （一）に掲げる糸を製品の全部又は一部に使用して製造した繊維製品及び（二）に掲げる織物、ニット</p>	<p>（家庭用品）</p> <p>第一条 家庭用品品質表示法（以下「法」という。）第二条第一項の家庭用品は、別表のとおりとする。</p> <p>別表（第一条関係）</p> <p>一 繊維製品</p> <p>（一） 糸（その全部又は一部が綿、毛、絹、麻（亜麻及び苧麻に限る。）、ビスコース繊維、銅アンモニア繊維、アセテート繊維、プロミックス繊維、ナイロン繊維、ビニロン繊維、ポリ塩化ビニリデン系合成繊維、ポリ塩化ビニル系合成繊維、ポリアクリルニトリル系合成繊維、ポリエステル系合成繊維、ポリエチレン系合成繊維、ポリプロピレン系合成繊維、ポリウレタン系合成繊維、ポリクラーラル繊維及びガラス繊維であるものに限る。）</p> <p>（二） （一）に掲げる糸を製品の全部又は一部に使用して製造した織物、ニット生地及びレース生地</p> <p>（三） （一）に掲げる糸を製品の全部又は一部に使用して製造した繊維製品及び（二）に掲げる織物、ニット</p>

生地又はレース生地を製品の全部又は一部に使用して製造し又は加工した繊維製品であつて、次に掲げるものの（電気加熱式のものを除く。）

1| コート、セーター、シャツ、ズボン、水着、ドレス、ホームドレス、ブラウス、スカート、事務服、作業服、上衣、子供用オーバーオール、ロンパース、下着、寝衣、羽織、着物、靴下、手袋その他これらに類する衣服であつて内閣府令で定めるもの

2| ハンカチ、マフラー、スカーフ、ショール、風呂敷、エプロン、かつぼう着その他これらに類する身の回り品であつて内閣府令で定めるもの

3| 床敷物（パイルのあるものに限る。）、毛布、膝掛け、上掛け（タオル製のものに限る。）、布団カバー、敷布、布団、カーテン、テーブル掛け、タオル、手拭いその他これらに類する家庭用繊維製品であつて内閣府令で定めるもの

生地又はレース生地を製品の全部又は一部に使用して製造し又は加工した繊維製品であつて、次に掲げるものの（電気加熱式のものを除く。）

1| 上衣

2| ズボン

3| スカート

4| ドレス及びホームドレス

5| ブルオーバー、カーディガンその他のセーター

6| ワイシャツ、開襟<sup>きん</sup>シャツ、ポロシャツその他のシャツ

7| ブラウス

8| エプロン、かつぼう着、事務服及び作業服

9| オーバーコート、トップコート、スプリングコート、レインコートその他のコート

10| 子供用オーバーオール及びロンパース

11| 下着

12| 寝衣

13| 靴下

14| 足袋

15| 手袋

16| ハンカチ

17| 毛布

18| 敷布

19| タオル及び手ぬぐい

二  合成樹脂加工品	
(一)	ポリエチレンフィルム製又はポリプロピレンフィルム製の袋（フィルムの厚さが○・○五ミリメートル以下で、かつ、個装の単位が百枚未満のものに限る。）
(二)	食卓用又は台所用の器具
(三)	盆
(四)	水筒
(五)	たらい、籠、バケツ、洗面器、浴室用の器具、湯

二  合成樹脂加工品	
(一)	洗面器、たらい、バケツ及び浴室用の器具
(二)	かご
(三)	盆
(四)	水筒
(五)	食卓用又は台所用の器具
(六)	ポリエチレンフィルム製又はポリプロピレンフィルム製の袋（フィルムの厚さが○・○五ミリメートル以下で、かつ、個装の単位が百枚未満のものに限る。）
20	羽織及び着物
21	マフラー、スカーフ及びショール
22	ひざ掛け
23	カーテン
24	床敷物（パイルのあるものに限る。）
25	上掛け（タオル製のものに限る。）
26	ふとん
27	毛布カバー、ふとんカバー、まくらカバー及びベツ
ドスプレッド	
28	テーブル掛け
29	ネクタイ
30	水着
31	ふろしき
32	帯
33	帯締め及び羽織ひも

たんぽその他これらに類する住生活用品であつて内閣府令で定めるもの

### 三 電気機械器具

(一) エアコンディショナー（電動機の定格消費電力の合計が三キロワット以下、電熱装置を有するものにあつては、その電熱装置の定格消費電力が五キロワット以下のものに限り、電気冷風機及び熱電素子を使用するものを除く。）

(二) テレビジョン受信機

(三) 電気パネルヒーター

(四) 電気毛布

(五) ジャー炊飯器、電子レンジ（定格高周波出力が一キロワット以下のものに限る。）、電気コーヒー沸器その他これらに類する台所用電熱用品であつて内閣府令で定めるもの

(六) 電気冷蔵庫（熱電素子を使用しないものに限る。）

ー

(七) 換気扇（プロペラ形の羽根を有するものに限る。）

ー

(八) 電気洗濯機（水槽を有するものに限る。）

(九) 電気掃除機（真空式のものであつて、電源として

電池を使用しないものに限る。）

ー

(七) 湯たんぽ

(八) 可搬型便器及び便所用の器具（固定式のものを除く。）

### 三 電気機械器具

(一) 電気洗濯機（水槽<sup>すいそう</sup>を有するものに限る。）

(二) ジャー炊飯器

(三) 電気毛布

(四) 電気掃除機（真空式のものであつて、電源として電池を使用しないものに限る。）

(五) 電気冷蔵庫（熱電素子を使用しないものに限る。）

ー

(六) 換気扇（プロペラ形の羽根を有するものに限る。）

ー

(七) エアコンディショナー（電動機の定格消費電力の合計が三キロワット以下、電熱装置を有するものにあつては、その電熱装置の定格消費電力が五キロワット以下のものに限り、電気冷風機及び熱電素子を使用するものを除く。）

(八) テレビジョン受信機

(九) 電気ジュースー、電気ミキサー及び電気ジュースー

ーミキサー

(十) 電気パネルヒーター

(十一) 電気ポット

(十) 電気かみそり

(十一) 電気ジューサーミキサー、電気ジューサー及び電気ミキサー

(十二) 卓上スタンド用蛍光灯器具（机等に取り付ける構造のものを除く。）

#### 四 雑貨工業品

(一) ティッシュペーパー、トイレットペーパーその他これらに類する紙であつて内閣府令で定めるもの

(二) 衣料用、台所用又は住宅用の漂白剤

(三) 塗料

(四) サングラス（視力補正用のものを除く。）

(五) 浄水器（飲用に供する水を得るためのものであつて、水道水から残留塩素を除去する機能を有するものに限る。）

(六) ショッピングカート

(七) 食事用、食卓用又は台所用のアルミニウムはく

(八) 食事用、食卓用又は台所用の器具（強化ガラスその他の内閣府令で定める素材を使用して製造したものに限る。）

(九) 鍋（アルミニウム製のもの、鉄製でほうろう引きのもの、ステンレス鋼製のもの及び銅製のものに限り

(十二) 電気ロースター

(十三) 電気かみそり

(十四) 電子レンジ（定格高周波出力が一キロワット以下のものに限る。）

(十五) 卓上スタンド用けい光燈器具（机等に取り付ける構造のものを除く。）

(十六) 電気ホットプレート

(十七) 電気コーヒー沸器

#### 四 雑貨工業品

(一) 魔法びん

(二) かばん（牛革、馬革、豚革、羊革又はやぎ革を使用したものに限る。）

(三) 洋傘

(四) 合成洗剤（研磨材を含むもの及び化粧品を除く。）  
、洗濯用又は台所用の石けん及び住宅用又は家具用の洗剤（研磨材を含むものを除く。）

(五) 住宅用又は家具用のワックス

(六) ウレタンフォームマットレス（ウレタンフォームの部分の最大の厚さが五〇ミリメートル以上のものに限る。）及びスプリングマットレス

(七) 靴（甲に合成皮革を、本底にゴム、合成樹脂又はこれらの混合物を使用し、甲と本底とを接着剤により接着したものに限る。）

(八) 革又は合成皮革を製品の全部又は一部に使用して

、容量が十リットルを超えるもの及び加熱装置を有するものを除く。）、湯沸かし（アルミニウム製のもの、鉄製でほうろう引きのもの、ステンレス鋼製のもの及び銅製のものに限り、容量が十リットルを超えるものを除く。）、魔法瓶（内閣府令で定めるものに限る。）、その他これらに類する台所用品及び食卓用品であつて内閣府令で定めるもの
(十) 革又は合成皮革を製品の全部又は一部に使用して製造したコート、セーター、ズボン、ドレス、スカート、上衣及び手袋
(十一) かばん（牛革その他の内閣府令で定める素材を使用して製造したものに限る。）
(十二) 洋傘
(十三) 靴（内閣府令で定めるものに限る。）
(十四) たんす
(十五) 机及びテーブル
(十六) 椅子、腰掛け及び座椅子
(十七) マットレス（内閣府令で定めるものに限る。）
(十八) 歯ブラシ（電動式のものを除く。）
(十九) 哺乳用具
(二十) 合成洗剤（研磨材を含むもの及び化粧品を除く。）、洗濯用又は台所用の石けん（研磨材を含むものを除く。）、住宅用又は家具用の洗剤（研磨材を含むものを除く。）、台所用、住宅用又は家具用の磨き

製造した手袋
(九) 机及びテーブル
(十) いす、腰掛け及び座いす
(十一) たんす
(十二) 合成ゴム製のまな板
(十三) 革又は合成皮革を製品の全部又は一部に使用して製造した上衣、ズボン、スカート、ドレス、コート及びブルオーバー、カーディガンその他のセーター
(十四) 塗料
(十五) ティッシュペーパー及びトイレットペーパー
(十六) 漆又はカシュー樹脂塗料を塗つた食事用、食卓用又は台所用の器具（木製のもの及び合成樹脂製のものに限る。）
(十七) 接着剤（動植物系のもの及びアスファルト系のものを除く。）
(十八) 強化ガラス製の食事用、食卓用又は台所用の器具
(十九) ほうけい酸ガラス製又はガラスセラミックス製の食事用、食卓用又は台所用の器具
(二十) ショッピングカート
(二十一) サンガラス（視力補正用のものを除く。）
(二十二) 歯ブラシ（電動式のものを除く。）
(二十三) 食事用、食卓用又は台所用のアルミニウムは

剤（研磨材を含むものに限る。））、接着剤（動植物系  
のもの及びアスファルト系のものを除く。）その他こ  
れらに類する石けん、家庭用合成洗剤及び家庭用化学  
製品であつて内閣府令で定めるもの

（二十四） ほ乳用具

（二十五） なべ（アルミニウム製のもの、鉄製でほうろ  
う引きのもの、ステンレス鋼製のもの及び銅製のもの  
に限り、容量が十リットルを超えるもの及び加熱装置  
を有するものを除く。）

（二十六） 湯沸かし（アルミニウム製のもの、鉄製でほ  
うろう引きのもの、ステンレス鋼製のもの及び銅製の  
ものに限り、容量が十リットルを超えるものを除く。  
）

（二十七） 障子紙

（二十八） 衣料用、台所用又は住宅用の漂白剤

（二十九） 台所用、住宅用又は家具用の磨き剤（研磨材  
を含むものに限る。）

（三十） 浄水器（飲用に供する水を得るためのものであ  
つて、水道水から残留塩素を除去する機能を有するも  
のに限る。）

家庭用品品質表示法施行規則の一部を改正する内閣府令新旧対照条文  
 ○家庭用品品質表示法施行規則（昭和三十七年通商産業省令第百六号）（抄）

（傍線部分は改正部分）

改正後		改正前
<p>（家庭用品）</p> <p>第一条 家庭用品品質表示法施行令（昭和三十七年政令第三百九十号。以下「令」という。）別表第一号（一）の内閣府令で定める繊維は、次に掲げるものとする。</p> <p>一 プロミックス繊維</p> <p>二 ポリエチレン系合成繊維</p> <p>三 ビニロン繊維</p> <p>四 ポリ塩化ビニリデン系合成繊維</p> <p>五 ポリ塩化ビニル系合成繊維</p> <p>六 ポリアクリルニトリル系合成繊維</p> <p>七 ポリプロピレン系合成繊維</p> <p>八 ポリクラル繊維</p> <p>2 令別表第一号（三）1の内閣府令で定める衣服は、次に掲げるものとする。</p> <p>一 帯</p> <p>二 足袋</p> <p>3 令別表第一号（三）2の内閣府令で定める身の回り品は、次に掲げるものとする。</p> <p>一 ネクタイ</p> <p>二 羽織ひも</p> <p>三 帯締め</p> <p>4 令別表第一号（三）3の内閣府令で定める家庭用繊維製品は、次に掲げるものとする。</p> <p>一 ベッドスプレッド</p>		<p>（新設）</p>

二 毛布カバー	三 枕カバー	5 令別表第二号(五)の内閣府令で定める住生活用品は、次に掲げるものとする。	一 可搬型便器	二 便所用の器具(固定式のものを除く。)	6 令別表第三号(五)の内閣府令で定める台所用電熱用品は、次に掲げるものとする。	一 電気ポット	二 電気ホットプレート	三 電気ロースター	7 令別表第四号(一)の内閣府令で定める紙は、障子紙とする。	8 令別表第四号(八)の内閣府令で定める素材を使用して製造した食事用、食卓用又は台所用の器具は、次に掲げるものとする。	一 強化ガラス製の食事用、食卓用又は台所用の器具	二 ほうけい酸ガラス製又はガラスセラミックス製の食事用、食卓用又は台所用の器具	三 漆又はカシュー樹脂塗料を塗った食事用、食卓用又は台所用の器具(木製のものと及び合成樹脂製のものに限る。)	四 合成ゴム製のまな板	9 令別表第四号(九)の内閣府令で定める魔法瓶は、次に掲げるものとする。	一 中瓶にガラス製の真空二重瓶を使用した魔法瓶であつて、卓上用のもの	二 内瓶にステンレス鋼製の真空二重瓶を使用した魔法瓶であつて、主として飲用水に用い屋外に携帯するもの	10 令別表第四号(十一)の内閣府令で定める素材は、次に掲げるものとする。	一 牛革
------------	-----------	---	------------	-------------------------	---	------------	----------------	--------------	-----------------------------------	--	-----------------------------	--	---	----------------	---	---------------------------------------	---	--	---------

二 馬革  
三 豚革  
四 羊革  
五 やぎ革

11 令別表第四号(十三)の内閣府令で定める靴は、甲に合成皮革を、本底にゴム、合成樹脂又はこれらの混合物を使用し、甲と本底とを接着剤により接着した靴とする。

12 令別表第四号(十七)の内閣府令で定めるマットレスは、次に掲げるものとする。

一 スプリングマットレス

二 ウレタンフォームマットレス(ウレタンフォームの部分の最大の厚さが五〇ミリメートル以上のものに限る。)

13 令別表第四号(二十)の内閣府令で定める石けん、家庭用合成洗剤及び家庭用化学製品は、住宅用又は家具用のワックスとする。

(消費者庁長官との協議)

第二条 都道府県知事又は市長は、令第四条第五項の規定により消費者庁長官に協議しようとするときは、次に掲げる事項を記載した協議書を消費者庁長官に送付しなければならない。この場合において、市長にあつては、当該市を包括する都道府県の知事を通じて消費者庁長官に送付しなければならない。

一 五 (略)

(消費者庁長官に対する都道府県知事又は市長の報告)

第三条 (略)

第四条 (略)

(消費者庁長官との協議)

第一条 都道府県知事又は市長は、家庭用品品質表示法施行令(昭和三十七年政令第三百九十号。以下「令」という。)第四条第五項の規定により消費者庁長官に協議しようとするときは、次に掲げる事項を記載した協議書を消費者庁長官に送付しなければならない。この場合において、市長にあつては、当該市を包括する都道府県の知事を通じて消費者庁長官に送付しなければならない。

一 五 (略)

(消費者庁長官に対する都道府県知事又は市長の報告)

第二条 (略)

第三条 (略)

第五条

(略)

第四条

(略)